

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-07-20

# APM news 085

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

第1回APMワークショップ 7月6日(土) pm 1:00~2:30/APM 蔵  
参加者: 20名 (他見学者5名) / 講師: たかだみつみ

「多色刷木版画でポストカードをつくろう!」



4周年を迎えたAPMで、この度ワークショップがスタートした。ワークショップは秋山館長がAPM設立当初からやりたいと思っていた活動のひとつである。第1回目は7月6日(土)に、宮内駅傍に新設した「蔵」において開催した。今回の内容は、「多色刷木版画でポストカードをつくろう!」。木版画は印刷技術の礎である。さらに北斎や広重等に代表される艶やかな多色刷木版画は日本で発祥した技法である。その美しさは海外から高く評価され、多くの画家に影響を与えた。世界に誇る日本の伝統技術の仕組みを体験を通して学ぶという事が、今回のワークショップの意図である。版木は事前に用意しておき、参加者は摺り行程のみを体験した。APMシンボルキャラクターを無地のハガキに4色で1人3枚ずつ摺りあげた。仕上げに消しゴムはんこで作成した「APM」の印を押し、完成である。

1時間半の開催時間で、20名が体験した。参加者は老若男女問わず、最年少は1歳の男児であった。絵具を版木に伸ばし馴染ませる道具の刷毛とブラシは、職人が実際に使用している物と同じ物を用意した。見慣れない道具に初めは戸惑っていた参加者も、段々と手つきが慣れ、絵具の量を調整したり、パレンを擦る力を加減してみたりと各々で試行錯誤を重ね、見事に絵柄を摺り上げていった。会場内には葛飾北斎の富嶽三十六景「武州先住」(復刻版)も展示し、気軽に手に取り鑑賞し、ガラス越しではわからない木版画の風合いや緻密さを感じてもらった。体験後には、「楽しかった」「勉強になった」「おばあちゃんに送る」等の感想が聞かれ、皆笑顔であったのがとても印象的であった。

APMに初めて来館したという参加者も多く、これを機に今後も足を運んでもらえると嬉しい。ワークショップは定期的に行う予定である。多岐に渡る内容で行い、徐々にクオリティーを上げていきたい。(たかだみつみ・APM学芸員)

